

ART300GA

## 表象文化演習－比較文化・比較演劇－

春学期担当：川澄 亜岐子，秋学期担当：竹内 晶子

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

## 【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

管理 ID：1804994  
授業コード：C1112

比較演劇・比較文化「演劇と越境」がテーマ。言語、文化、国籍、ジャンル、性別など、さまざまな「境」を演劇がどう乗り越えていき、新しい作品を作り出していくのかを、具体的な作品鑑賞と分析を通じて考えていきます。キーワード：オリエンタリズム、翻案、異性装、ジェンダー、演劇、映画、アニメ、ミュージカル、能、歌舞伎、宝塚

## 【到達目標】

- ・小説、漫画、ミュージカル、映画、アニメ、舞台劇、テレビドラマ、古典演劇、バレエなど、異なるジャンルの作品間の比較文化的な分析ができるようになる。
- ・オリエンタリズムやジェンダー、演劇論といった理論を応用した作品分析ができるようになる。
- ・日本の古典演劇について、基本的な知識を身につける。
- ・先行研究をふまえ、細密なテキスト分析にもとづいた、客観的かつ説得力をもった論文を書くことができるようになる。

## 【授業の進め方と方法】

春学期（担当講師：川澄亜岐子）はジェンダーやオリエンタリズムの理論を学びます。『眠れる森の美女』、『マレフィセント』、『シルク』（2007年）という3本の映画作品を取り上げ、ジェンダーまたはオリエンタリズムの理論を実際に用いて作品分析を試みます。

秋学期（担当講師：竹内晶子）は、日本を代表する特異な演劇ジャンルである、能・歌舞伎・宝塚を取り上げます。それぞれのジャンルの舞台上の特性を学ぶとともに、基本的案演劇理論を応用しながら西洋演劇との比較を行います。演劇における異性装の問題、舞台と観客の関係、演劇における「非リアリズム」の問題などを、作品分析と実際の舞台鑑賞を組み合わせながら考察します。

また授業以外でも、上記の様々なジャンルの舞台に足を運ぶ予定。両学期ともに、学生には各自研究発表を課します。

## 【授業計画】

## 春学期

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業内容の紹介と説明
2	『眠れる森の美女』I	映画鑑賞、ジェンダー理論概説
3	『眠れる森の美女』II	映画鑑賞、作品分析（女性のステレオ・タイプ）
4	『マレフィセント』I	映画鑑賞、翻案とは何か
5	『マレフィセント』II	映画鑑賞、作品分析（書き換えられた女性像）
6	『マレフィセント』III	映画鑑賞、作品分析（グループ・ディスカッション）
7	『シルク』I	映画鑑賞、オリエンタリズム概説
8	『シルク』II	映画鑑賞、作品分析（「フランス」からみた「日本」）
9	『シルク』III	映画鑑賞、作品分析（『お菊さん』の承譜）
10	学生発表I	四年次生中間発表①
11	学生発表II	四年次生中間発表②
12	学生発表III	四年次生中間発表③
13	学生発表IV	三年次生研究発表①
14	学生発表V	三年次生研究発表②

## 秋学期

回	テーマ	内容
15	イントロダクション	授業内容の紹介と説明
16	能I	能の構造、身体技法
17	能II	能（安達ヶ原）と翻案

18	能III	新作能〈マレフィセント〉
19	歌舞伎I	歌舞伎の構造
20	歌舞伎II	歌舞伎の女形
21	歌舞伎III	新作歌舞伎〈マレフィセント〉
22	宝塚I	宝塚と男役
23	宝塚II	新作宝塚〈マルフィセント〉
24	学生発表I	四年次生中間発表①
25	学生発表II	四年次生中間発表②
26	学生発表III	四年次生中間発表③
27	学生発表IV	三年次生研究発表①
28	学生発表V	三年次生研究発表②

## 【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・課題テキストを読み、発表準備をすること。
- ・期末論文の調査・執筆・書き直し。

## 【テキスト（教科書）】

適宜配布プリントを使用します。教科書は用いません。

## 【参考書】

- ・エドワード・W・サイード『オリエンタリズム』平凡社、1992年。
- ・若桑みどり『お姫様とジェンダー アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』（ちくま新書）筑摩書房、2003年。

## 【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 30パーセント
- ・課題提出 20パーセント
- ・発表 20パーセント
- ・期末論文 30パーセント

## 【学生の意見等からの気づき】

板書を多用します。